

地理学野外実習Ⅰ－Ⅳ

科目ナンバリング GGR-410
選択必修 2単位

吉野 裕

1. 授業の概要(ねらい)

卒論を作成する際に、みなさんは研究対象地域(「現地」)に行き、自身で研究に必要なデータや資料を収集することになります。しかし、みなさんの中に「現地調査の経験者」はほとんどおられないと思います。この授業は、そのようなみなさんが、現地調査に関する知識・技術を磨くため(つまり、卒論をスムーズに作成するため)の科目です。実際に、学生と教員で現地調査を行い、卒論の作成に必要な知識と技術(観察調査・聞き取り調査・資料収集の方法など)を身につけていきます。秋期は「東京都内」を調査対象地域として、グループで調査・分析を行います。

2. 授業の到達目標

- ・現地調査の基本的な方法を理解できる。
- ・現地調査を行い、レポートやレジュメの作成に必要な資料を自身で収集できる。
- ・現地調査・資料調査の成果をレジュメ・スライドにまとめ、これらを用いて発表できる。
- ・現地調査の結果をふまえ、今後の「研究課題」を提示できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業時のレポートなどの提出物(40%)・発表(40%)・受講態度(20%)をもとに、成績を総合的に評価します。

※受講態度:調査・作業にのぞむ態度のことを意味します。

4. 教科書・参考文献

教科書

野間晴雄・香川貴志・土平 博・河角龍典・小原文明編著 『ジオ・パルNEO 地理学・地域調査便利帳』 海青社

参考文献

特に指定しません

5. 準備学修の内容

授業と現地調査の前に、調査先について書籍・地図・インターネットなどで積極的に調べてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・2021年度秋期に新型コロナウイルス感染症が収束しない場合、学内での調査活動が中心となりますので、あらかじめご了承ください。
- ・現地調査を実施する場合、費用は履修者の個人負担となります。事前に費用を準備してください。現地調査の詳細(日程や費用など)については授業中にお知らせします。そのほかの重要な情報につきましては、LMS「地理学野外実習Ⅱ」に掲示します。LMSを頻繁に確認してください。
- ・この科目ではグループ活動(研究・調査)を行います。「優れた研究成果」は「良い人間関係」から生まれます。他者と積極的にコミュニケーションをとってください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、受講上の諸注意
- 【第2回】 調査グループをつくろう【オンライン 9月21日】
- 【第3回】 江戸・東京の富士信仰について調べよう①文献を収集する
- 【第4回】 江戸・東京の富士信仰について調べよう②富士塚の分布図の作成と解釈
- 【第5回】 江戸・東京の富士信仰について調べよう③浅間神社の分布図の作成と解釈
- 【第6回】 現地調査の準備をしよう①調査日程を確定する
- 【第7回】 現地調査の準備をしよう②調査地域の地形図を判読する
- 【第8回】 現地調査の準備をしよう③フィールドノートの使い方学ぶ
- 【第9回】 現地調査をしよう①富士塚を巡る
- 【第10回】 現地調査をしよう②データ・資料の収集
- 【第11回】 現地調査の成果を報告しよう①フィールドノートをまとめる
- 【第12回】 現地調査の成果を報告しよう②発表準備
- 【第13回】 現地調査の成果を報告しよう③発表 1・2班
- 【第14回】 現地調査の成果を報告しよう④発表 3・4班
- 【第15回】 総括